



# 東陽の旋風<sup>かぜ</sup> ～自立貢献～

令和4年12月23日（金）No 33 発行  
文責：松本 卓也

## 限界突破 ～挑め！自分との本気の勝負～

20日（火）、校内持久走大会を開催しました。前日までの厳しい寒さが和らぎ、時折日差しも照りつける等、絶好のコンディションでした。開会式の後、まずは女子の部がスタート！！代表女子800mで県中体連陸上競技大会に出場した3年生のOさんを先頭に、氷川沿い周回コースを駆け抜けます！2年生のIさんが追いかけてますが、そのまま1位でゴールしました。続いて、男子の部がスタート！！互いの意地がぶつかります！最後は、1年生Mさんがリードを広げ、ゴールテープを駆け抜けました。苦しくてもラストパートでも全力を出し切る姿や、仲間を懸命に応援する姿がいろいろな場面で見られ、子どもたちの“一生懸命さ”に感動しました。また、体育委員会の子どもたちが、大会運営だけでなく、準備や片付け（トイレ清掃等）も率先して行ってくれました。今年度掲げている学校教員目標「スロガ育委員会」の自立貢献を体現してくれました。S委員長、K副委員長、今回の校内持久走大会は例年以上に保護者の方の応援が多く、子どもたちの大きな力になりました。交通安全指導で協力いただいた保護者の皆さま、ありがとうございました。



令和4年度東陽中学校持久走大会

限界突破  
～挑め！自分との本気の勝負～

日時：令和4年12月20日（火）  
・女子の部14時50分スタート  
・男子の部15時10分スタート予定



## 東陽中の未来を託す ～生徒会役員選挙～

16日（金）午後、令和5年度生徒会役員立会演説会が行われました。私たちの代表として、東陽中の未来を託すリーダーを選ぶ選挙です。立会演説会では、「生徒全員が自分で物事を考え、考えたことを実行できるような学校にし、学校生活を充実させていきたい。」「課題である挨拶の大きさや先輩、後輩の上下関係を改善していきたい。」等、力強い抱負を述べられました。投票の結果、4名全員が信任されました。自らの学校を自分たちでつくる！先輩方の思いを受け継ぎ、さらには東陽中学校を創ることを期待します。



## 笑う門には福来たる ～門松づくり～

17日（土）、地域にお住まいのN様を始め、3名の方にご指導頂き、門松づくりを行いました。材料の調達や竹の切り出し等、慣れた手つきでチェーンソーやナタを操るお二人の見事な手さばきに、私も見入ってしまいました。作業の合間には、門松の由来や意味についても教えていただきました。門松は、新年を迎える際に年神様を迎えるための拠り所と言われており、平安時代頃に始まった風習だそうです。ご指導頂きました地域指導者皆様、お手伝い頂きました3年保護者の皆様、ありがとうございました。切り口を笑い顔に、来年もたくさうご福（幸）がやってくると思います。



## 【編集後記】令和4年（2022年）の終わりに・・・

▼明日から冬休み。2022年も、あと8日で終わります。今年も、新型コロナウイルスとの闘いや、世界の至る所でたくさんの悲しみや苦しみがありました。それでも、みんなの知恵を出し合い、ともに解決を目指した年でもあります。東陽中でも、子どもたちは、我慢や制限のある中でも、やるべきことをやり、仲間と協力しながら、自分を高め、成長してくれました。▼来年2023年をどんな年にするのか？子どもたちには、自分のやりたいことや夢を考え、どのように終業式で伝えました。一度きりの人生、自分の夢に向かって、どんどん挑戦していきたくないと願います。▼保護者の皆さまには、さまざまな教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。来年も、皆さまにとりまして良い年になりますようお祈り申し上げます。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）